

蔵王ダム [中空を歩く 監査廊はスリル満点！！]



◆ダムの概要

最上川水系馬見ヶ崎川に、昭和41年工事着工、昭和45年3月に完成した蔵王ダムは、河川環境の保全、洪水調節、かんがい用水、上水道用水、管理用発電などの目的を持った多目的ダムです。全国に13しかない中空重力式コンクリートダムのひとつです。

◆見学可能時期

4月下旬～11月



◆見学コース（総所要時間 約60分程度）

ダム堤体
ダム上流、下流を見学しながら堤体を歩きます。

ダム管理所
ダム管理所2階にある操作室を見学します。ダムを管理するための様々な機器をご覧頂けます。

発電所
通常、見ることが出来ない発電所の見学ができます。

ダム監査廊
通常、見ることが出来ないダムの内部を見学できます。まさに中空をゆく監査廊はスリル満点です。

※ ダムからの眺望は曜日に関係なくお楽しみいただけます。



下に見学者がいます

▲中空重力式ダムの内部



▲ダム監査廊内の見学

交通アクセス

- ◆所在地：山形市上宝沢
- ◆最寄り駅：山形駅
山形駅から車で約40分
- ◆山形自動車道山形蔵王ICから車で約30分



蔵王ダム [中空を歩く監査廊はスリル満点！！]

ダムのおすすめビューポイント

■ダム堤体左岸側

上流のダム湖の水面に春は新緑、秋には紅葉した木々がとても美しくダム湖に映し出されます。晴れた日には、下流域に山形市街地、遠方には、[霊峰月山](#)が見られます。

ダム管理所付近のダム堤体左岸側から見るができます。



ダム周辺の見どころ

■湖面に映る新緑や紅葉

融雪により5月中旬頃からダム湖面が上昇し、新緑がより鮮やかに見えます。また、紅葉の時期は鮮やかに色づいた木々とダム湖とのコントラストが美しいです。

■馬見ヶ崎川河川敷の桜並木

山形市を流れる馬見ヶ崎川沿いには約2kmの桜並木があり、見頃の時期には一部ライトアップされ見事な夜桜を見ることが出来ます。

また、毎年秋には、「山形のおいしい芋煮を直径6.5mの大鍋で作る」人気の「日本一の芋煮会フェスティバル」が、開催されます。

■ホタルの里／ニツ河原周辺

蔵王ダムへ向かう途中、右側から流入してくる不動沢。その少し奥のニツ河原、地元の人々の優しい心に守られて、毎年、夏に美しい輝きを放つホタルの生息地です。

■[雁戸山](#)（がんどさん）

雁戸山（標高1,484m）は、北雁戸・南雁戸の双耳峰で構成され、その急峻な山容がガンドウ（のこぎり）を連想させることからこの名で呼ばれるようになったと言われています。笹谷峠からの登山道は蔵王連峰縦走コースの一部となっており、県内はもとより、宮城県側からも多数の登山客が訪れます。

問い合わせ先：山形県村山総合支庁建設部 山形統合ダム管理課

【TEL】023-631-3526

【住所】山形市小白川町4丁目10番7号

【ホームページ】山形県のホームページ → サイト内検索：「山形県のダムマップ」で検索

【ダムカード】蔵王ダム管理所10:00～15:30（土日祝日を除く）